

消防だより

平成30年11月号

～ 県救急医療関係功労者知事表彰 ～

長年にわたって救急医療に貢献した団体や個人に贈られる「2018年度県救急医療関係功労者知事表彰」の表彰式が9月11日に県庁で行われました。当消防本部から平田浩消防司令が受賞したほか、宮古島市休日夜間救急診療所の藤川所長、石垣市消防本部の新城さん、宮古島市消防本部の羽地さんが受賞されました。おめでとうございます。



救急医療週間



9月9日「救急の日」を含む9月15日まで一週間は「救急医療週間」です。今年「あなたのチャレンジが命をつなぐ。」をテーマに行われました。

「救急の日」及び「救急医療週間」は、救急医療及び救急業務に対する町民の正しい理解と認識を深め、かつ、救急医療関係者の意識の高揚を図ることを目的として、全国で行われています。

当消防本部では、9月12日に救急技能展示訓練を実施しました。認定救命士



による特定行為や、救急隊としての迅速な連携活動などを4つの隊で行いました。日頃の訓練の成果を発揮できた、実りある訓練となりました。

近年多様化、高度化するどんな救急現場に対しても対応できるよう、より一層の救命率の向上に向けこれからも努力していきたいと思ひます。



9月出動状況 ()は、平成30年累計

・救急 …………… 27件 (230件)	・風水害 …………… 2件 (8件)
・火災 …………… 0件 (2件)	・捜索 …………… 0件 (0件)
・救助 …………… 2件 (5件)	・その他 …………… 3件 (12件)



合計…………… 34件 (257件)

注意発令

風しん流行について

現在、関東地方を中心に風しんが流行しており、10月に入り沖縄県内でも風しん患者が発生しました。今後も感染が拡大する可能性があります。

風しんは、妊婦へ感染すると、生まれてくる赤ちゃんが「先天性風しん症候群」を発症する可能性があるとても危険な感染症です。(妊婦は予防接種が受けられません。なるべく人混みを避けましょう。)

予防接種が最も効果的な予防策です。

- ◆麻しん風しん(MR) 定期予防接種対象者は確実に接種を受けましょう。
- ◆妊娠を希望される方や妊婦の同居者は、医師に相談し、抗体検査や予防接種を受けることについて積極的にご検討ください。
- ◆30代から50代の男性は、風しんの免疫が不十分な世代とされています。予防接種について積極的にご検討ください。
- ◆外出後の手洗い、うがい、咳エチケット等に気を付けましょう。